

YUKI HARADA DREAMSCAPE

公開制作 vol.4 —— 原田裕規 ドリームスケープ

2024年10月5日(土) — 2025年3月16日(日) 長野県立美術館 [本館1階オープンギャラリー]

開館時間 = 9:00 - 17:00 (展示室入場は16:30まで) / 休館日 = 水曜日、12月28日 ~ 1月3日 / 観覧無料 主催 = 長野県、長野県立美術館 / 支援 = 令和6年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業

原田裕規 ゲストキュレーション —— NAMコレクション2024 第III期 もうひとつの風景

2024年10月10日(木) — 12月17日(火) 長野県立美術館 [本館2階コレクション展示室]

観覧料 (本館・東山魁夷館共通) = 一般700円、大学生・75歳以上500円、高校生以下または18歳未満無料



公開制作vol.4 ———— 原田裕規 ドリームスケープ

公開制作は、アーティストが一定期間美術館に滞在して作品を制作し、その制作過程や完成した作品をご覧いただくプログラムです。vol.4となる今年度は、とるにたらない視覚文化をモチーフに、テクノロジー、リサーチ、パフォーマンスなどを駆使して作品を制作している原田裕規を招へいます。

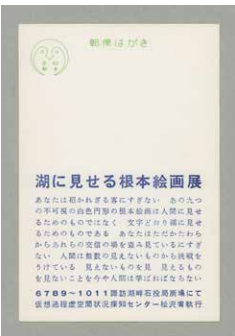
長野県民にとって、山々の連なる風景は日常であるとともに、多くの人を魅了する観光資源でもあります。長野県立美術館は、コレクションポリシーのひとつとして、美しい山岳風景を描いた表現を挙げており、旅行や登山、避暑、疎開等さまざまな理由で長野を訪れ、描いてきた作家たちの風景表現を多数コレクションしています。他方、長野では、光学や印刷の技術が発達し主要な産業となっています。山を愛好し、それらを撮影・発表する人たちが大勢いることと、どこかでつながりがあるのかもしれません。

原田は、公開制作のために長野をリサーチする中で、この「風景表現」と「印刷技術」という2つのキーワードに関心を示しました。今回の公開制作では、近年「ドリームスケープ」という名称でインターネットを中心に流行しているデジタル風景表現について考察し、制作に取り入れてきた原田が、長野の風景表現に向き合い、作品として昇華していく様子が公開されます。

また当館初の試みとして、NAMコレクション2024 第III期のゲストキュレーターを原田が担当します。長野の風景が描かれた作品や、「荒野」をモチーフとした松澤宥の言葉の作品などを通じて、長野県の各地域と風景表現の関わりが示されます。



左：原田裕規《ホーム・ポート》2023年／右上：原田裕規《Waiting for》2021年／右下：原田裕規《湖に見せる絵（海辺の僧侶）》2022年



左：赤羽雪邦《米国風景》1914年／中：河野通勢《長野の近郊（長野風景）》1915年／右：松澤宥《湖に見せる根本絵画展》1967年、すべて長野県立美術館蔵

【イベント】

NAMコレクション2024 第III期 ギャラリートーク

本展ゲストキュレーターの原田裕規が展示について解説します。

日時＝2024年10月19日(土) 14時～15時

会場＝本館2階コレクション展示室

*参加希望者は観覧券をご準備の上、コレクション展示室入口へお集まりください

定員＝20名(先着順)

ラウンドトーク「ドリームスケープ／山について」

作家が公開制作の内容について語るとともに、参加者とともに山について語り合い、その内容の一部を新作制作へと活かします。

日時＝2024年10月19日(土) 15時30分～16時30分

会場＝本館1階交流スペース

定員＝20名(先着順)

このほかにも会期中に複数回のイベントを予定しております。

*詳細は当館ホームページのイベントページよりご確認ください

表面：原田裕規《残照》(部分) 2024年

【作家プロフィール】

原田 裕規(はらだ・ゆうき) | アーティスト

1989年山口県生まれ、2016年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了。主な個展に「やっぱり世の中で一ばんえらいのが人間のようでごいす」(日本ハワイ移民資料館、2023年)、「Unreal Ecology」(京都芸術センター、2022年)、「アベルト14 原田裕規 Waiting for」(金沢21世紀美術館、2021年)、単著に『評伝クリスチャン・ラッセン』(中央公論新社、2023年)、『とるにたらない美術』(ケンエブックス、2023年)、編著に『ラッセンとは何だったのか?』(フィルムアート社、2013年)、受賞にTERRADA ART AWARD 2023など。https://www.haradayuki.com/

*会期中、作家が美術館に滞在していない期間もあります。作家の滞在日は当館ホームページにてご確認ください。

*諸般の事情により予定に変更が生じる場合があります。

NAM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

長野市箱清水1-4-4 TEL. 026-232-0052

https://nagano.art.museum/

開館時間：9:00-17:00

休館日：水曜日、12月28日～1月3日



原田裕規 ゲストキュレーション NAMコレクション2024 第III期 もうひとつの風景

会期＝2024年10月10日(木)～12月17日(火)

会場＝本館2階コレクション展示室

観覧料(本館・東山魁夷館共通)＝一般700円、大学生・75歳以上500円、高校生以下または18歳未満無料

主催＝長野県、長野県立美術館



Photo: Kaori Nishida

【アクセス】長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はございません。公共交通機関のご利用をお願いします。●バス：JR長野駅善光寺口バス乗り場④からアルピコ交通バス[11系統]善光寺經由宇木行、[16系統]善光寺・若槻団地經由若槻東条行、[17系統]善光寺・西条經由若槻東条行で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。／[善光寺行き「びんずる号」]で「善光寺大門」下車(所要時間約13分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ徒歩約10分。土日祝日は「城山公園前」下車。●鉄道：長野電鉄「善光寺下駅」下車、城山公園へ徒歩約15分。